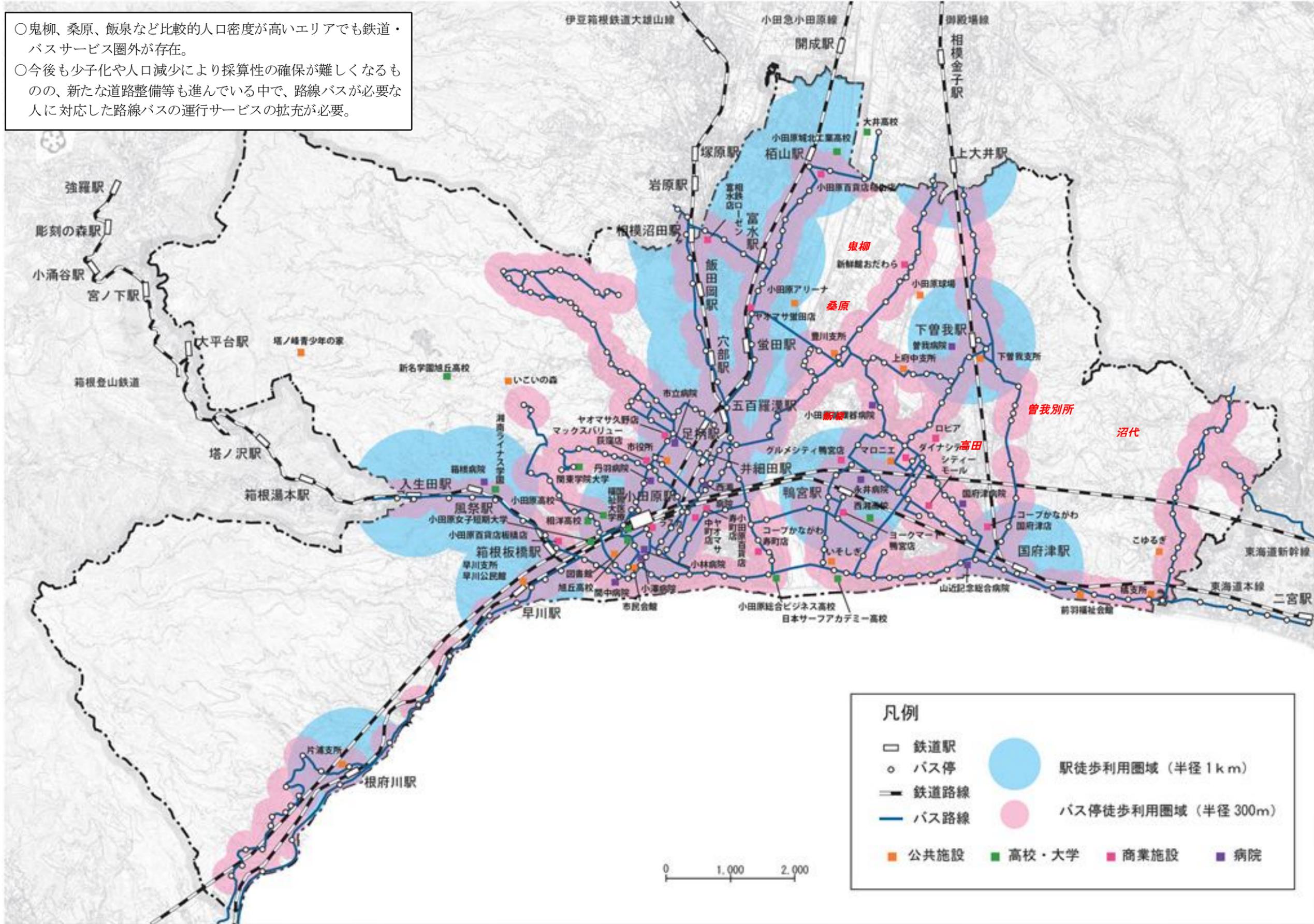


平成 23 年度調査の課題整理

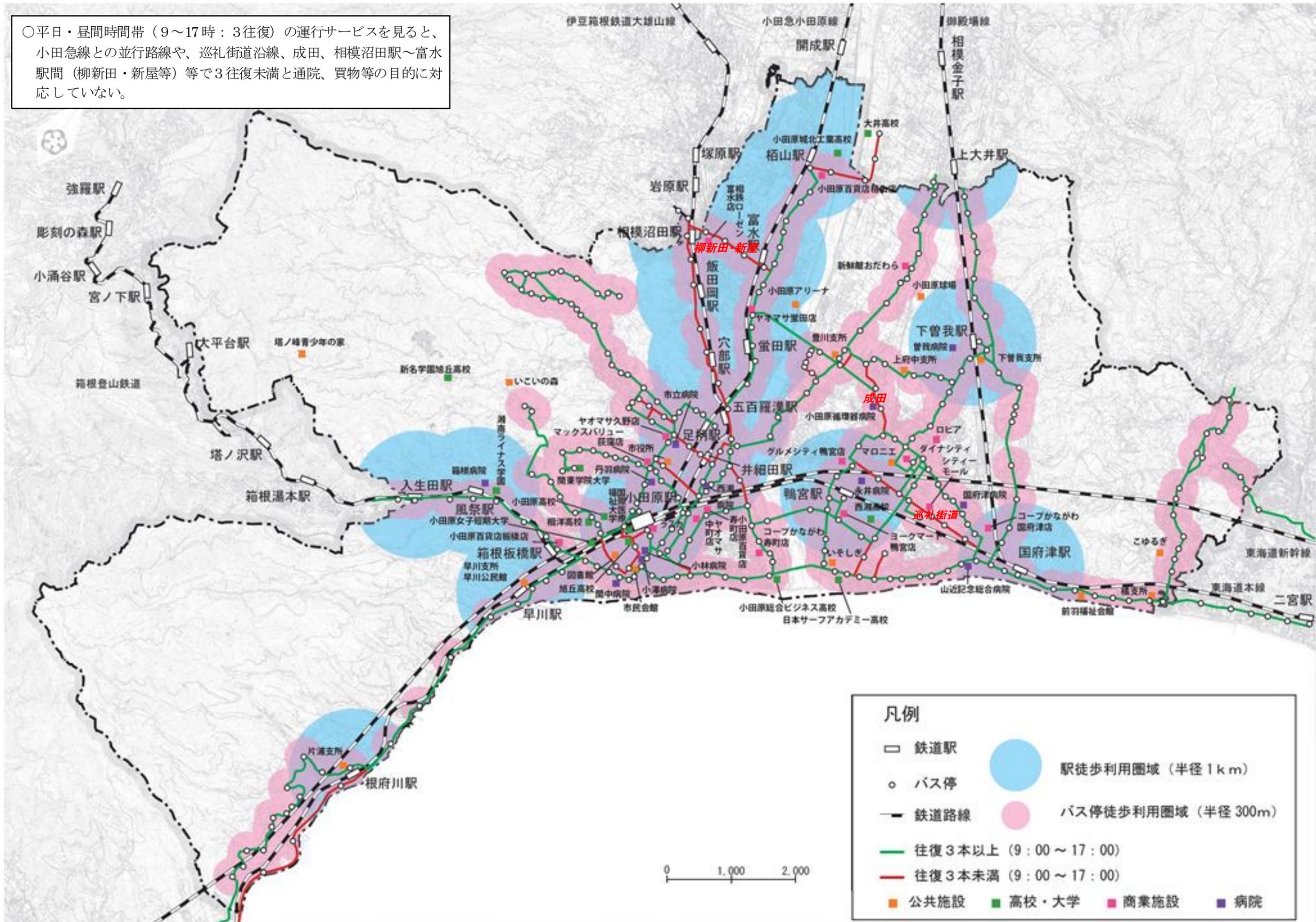
■鉄道・バス徒歩サービス圏図

○鬼柳、桑原、飯泉など比較的人口密度が高いエリアでも鉄道・バスサービス圏外が存在。
 ○今後も少子化や人口減少により採算性の確保が難しくなるものの、新たな道路整備等も進んでいる中で、路線バスが必要な人に対応した路線バスの運行サービスの拡充が必要。



■平日・昼間時間帯(9~17時)サービス圏域図

○平日・昼間時間帯(9~17時:3往復)の運行サービスを見ると、小田急線との並行路線や、巡礼街道沿線、成田、相模沼田駅~富水駅間(柳新田・新屋等)等で3往復未満と通院、買物等の目的に対応していない。

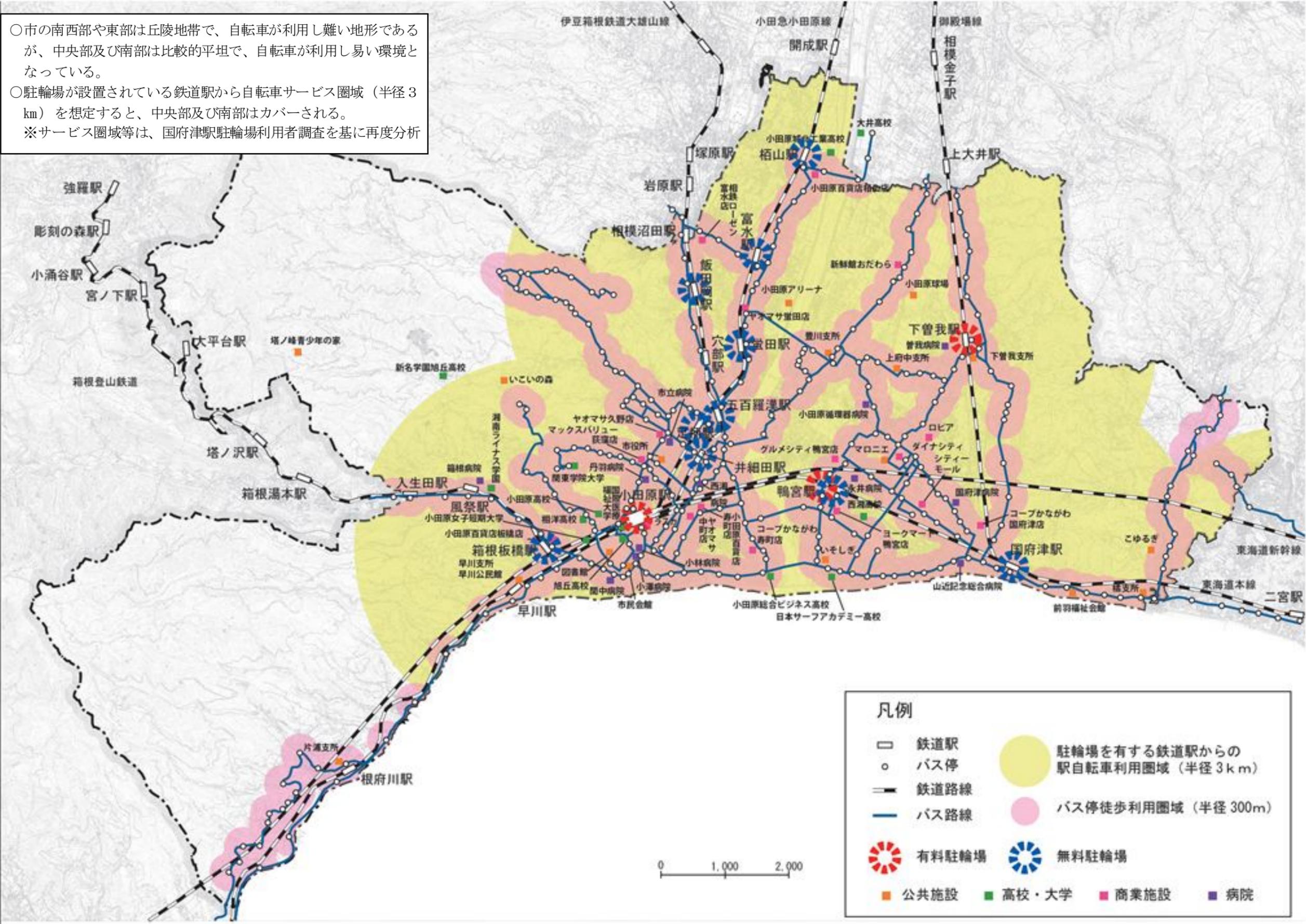


■鉄道自転車サービス圏域+バス徒歩サービス圏域図

○市の南西部や東部は丘陵地帯で、自転車が利用し難い地形であるが、中央部及び南部は比較的平坦で、自転車が利用し易い環境となっている。

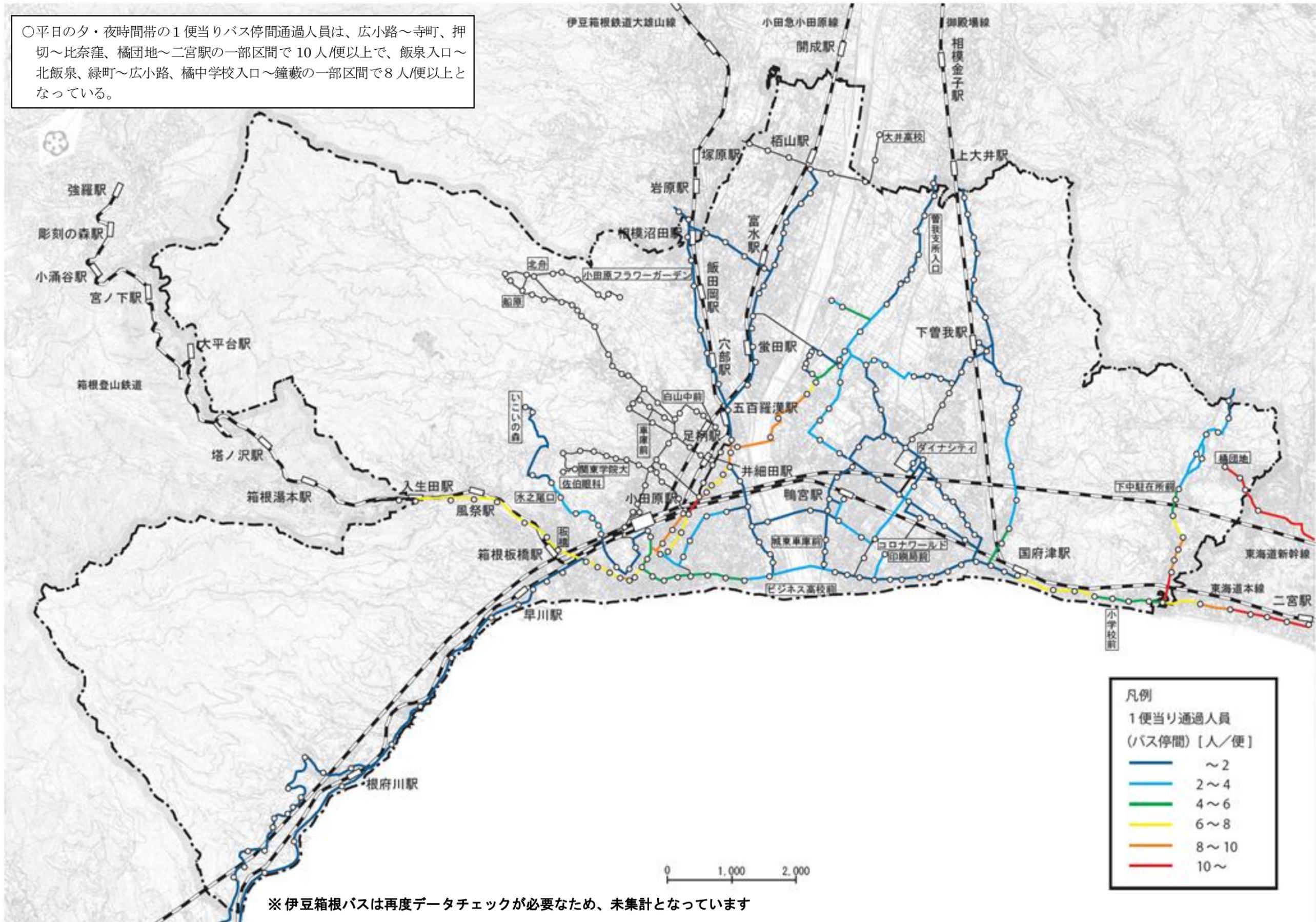
○駐輪場が設置されている鉄道駅から自転車サービス圏域（半径3km）を想定すると、中央部及び南部はカバーされる。

※サービス圏域等は、国府津駅駐輪場利用者調査を基に再度分析



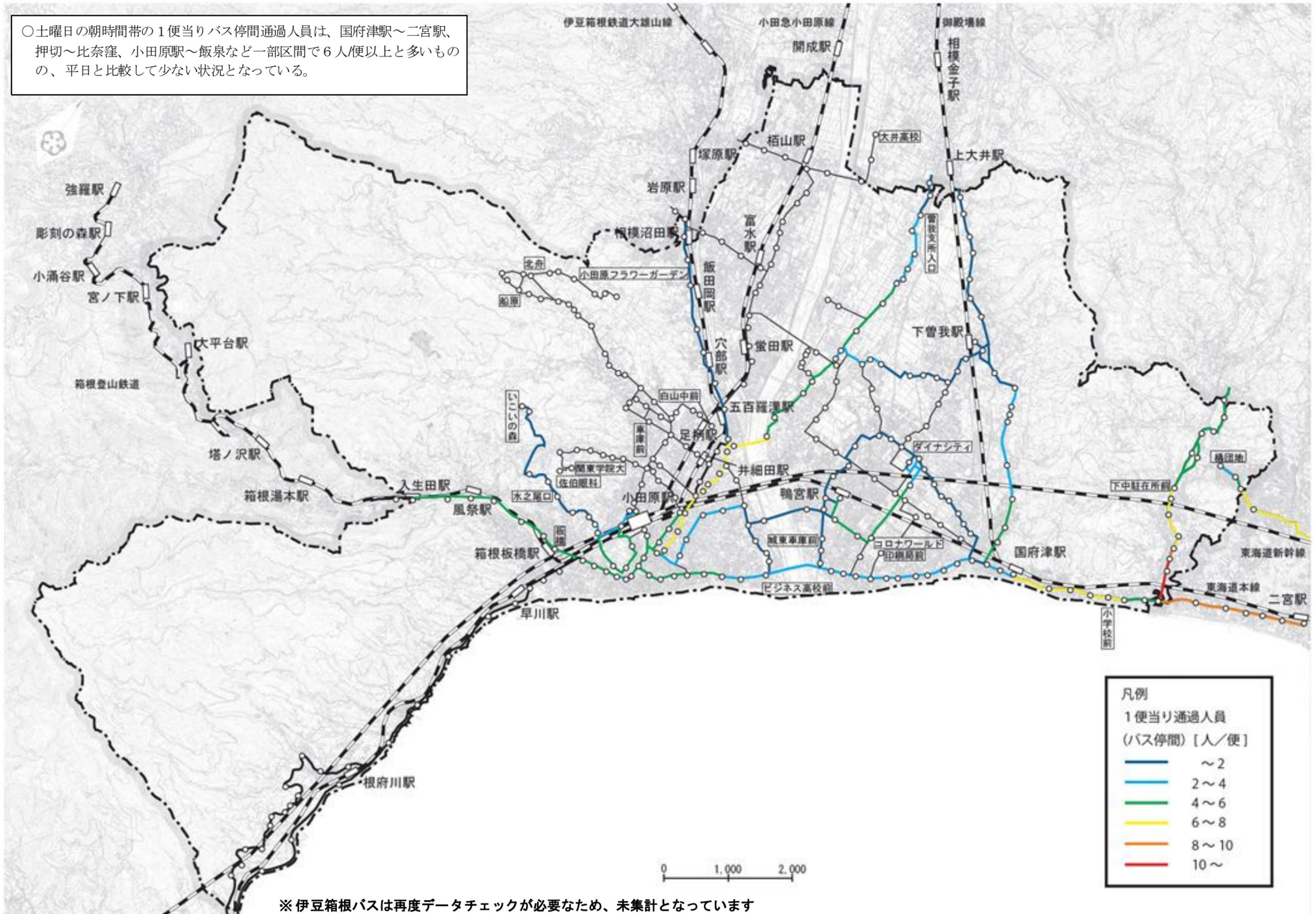
■時間帯別1便当りバス停間通過人員図(平日、夕・夜時間帯(17時~))

○平日の夕・夜時間帯の1便当りバス停間通過人員は、広小路~寺町、押切~比奈窪、橘団地~二宮駅の一部区間で10人/便以上で、飯泉入口~北飯泉、緑町~広小路、橘中学校入口~鐘藪の一部区間で8人/便以上となっている。



■時間帯別1便当りバス停間通過人員図(土曜日、朝時間帯(~9時))

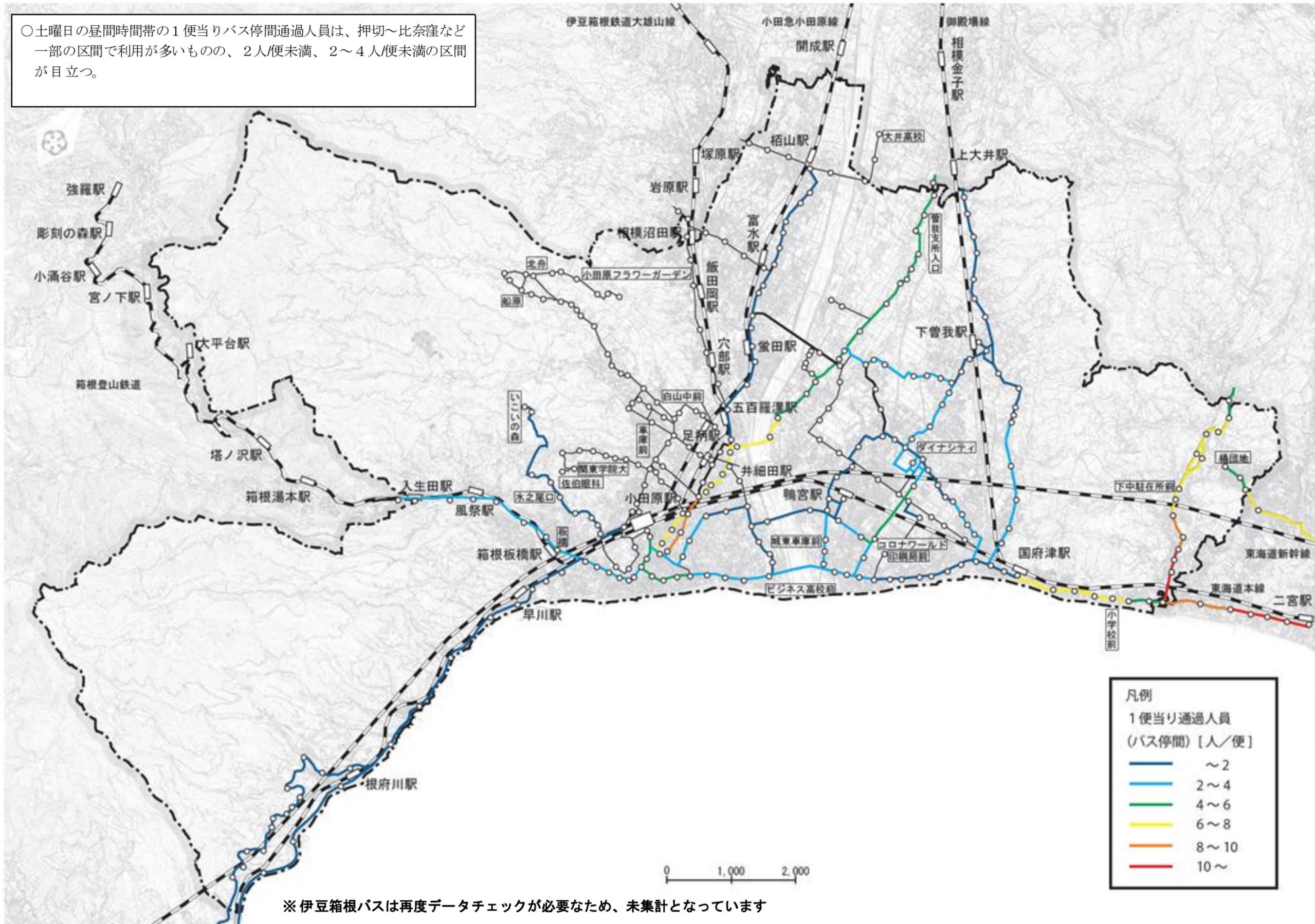
○土曜日の朝時間帯の1便当りバス停間通過人員は、国府津駅～二宮駅、
 押切～比奈窪、小田原駅～飯泉など一部区間で6人/便以上と多いもの
 の、平日と比較して少ない状況となっている。



※伊豆箱根バスは再度データチェックが必要なため、未集計となっています

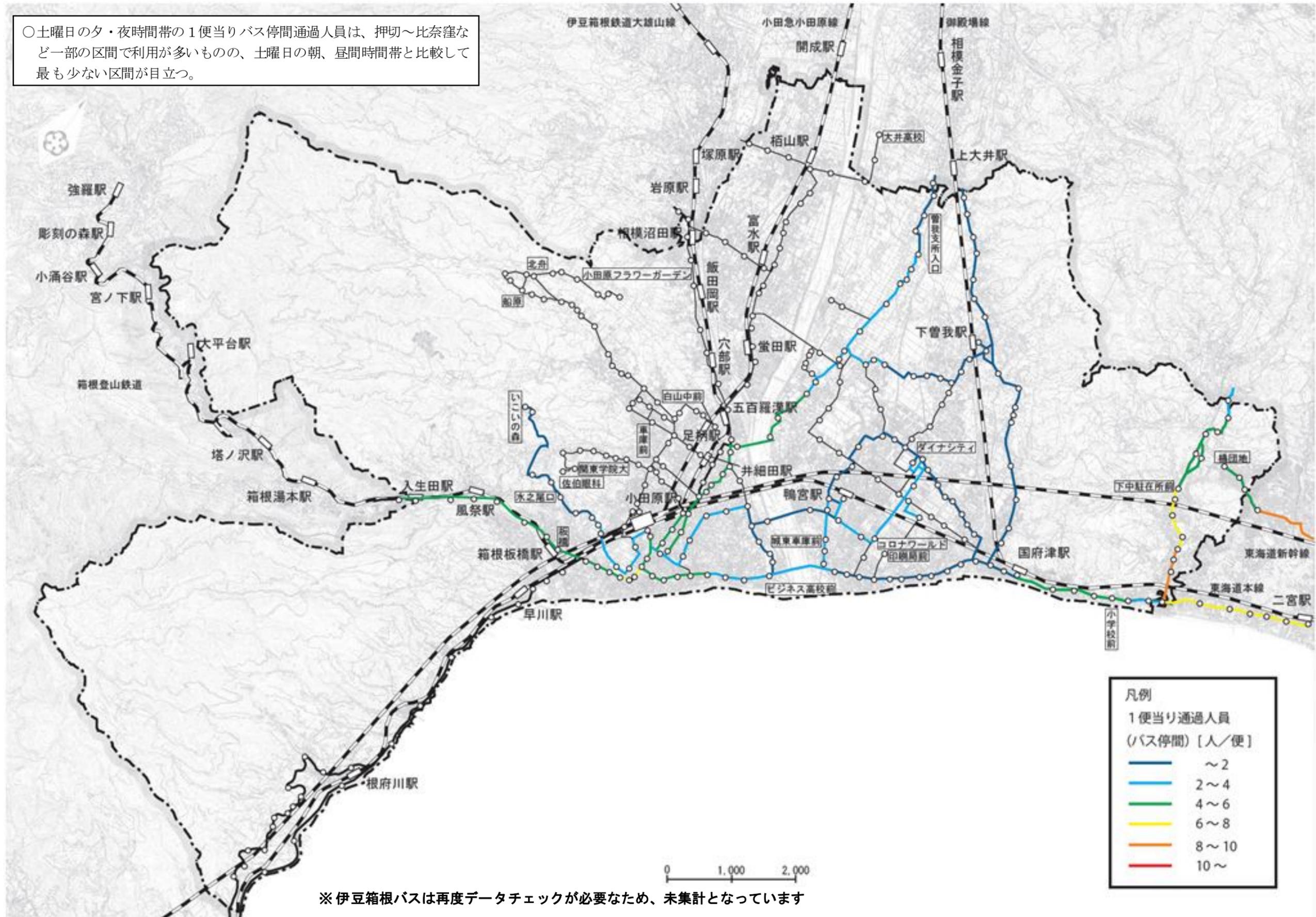
■時間帯別1便当りバス停間通過人員図(土曜日、昼間時間帯(9~17時))

○土曜日の昼間時間帯の1便当りバス停間通過人員は、押切~比奈窪など一部の区間で利用が多いものの、2人便未満、2~4人便未満の区間が目立つ。



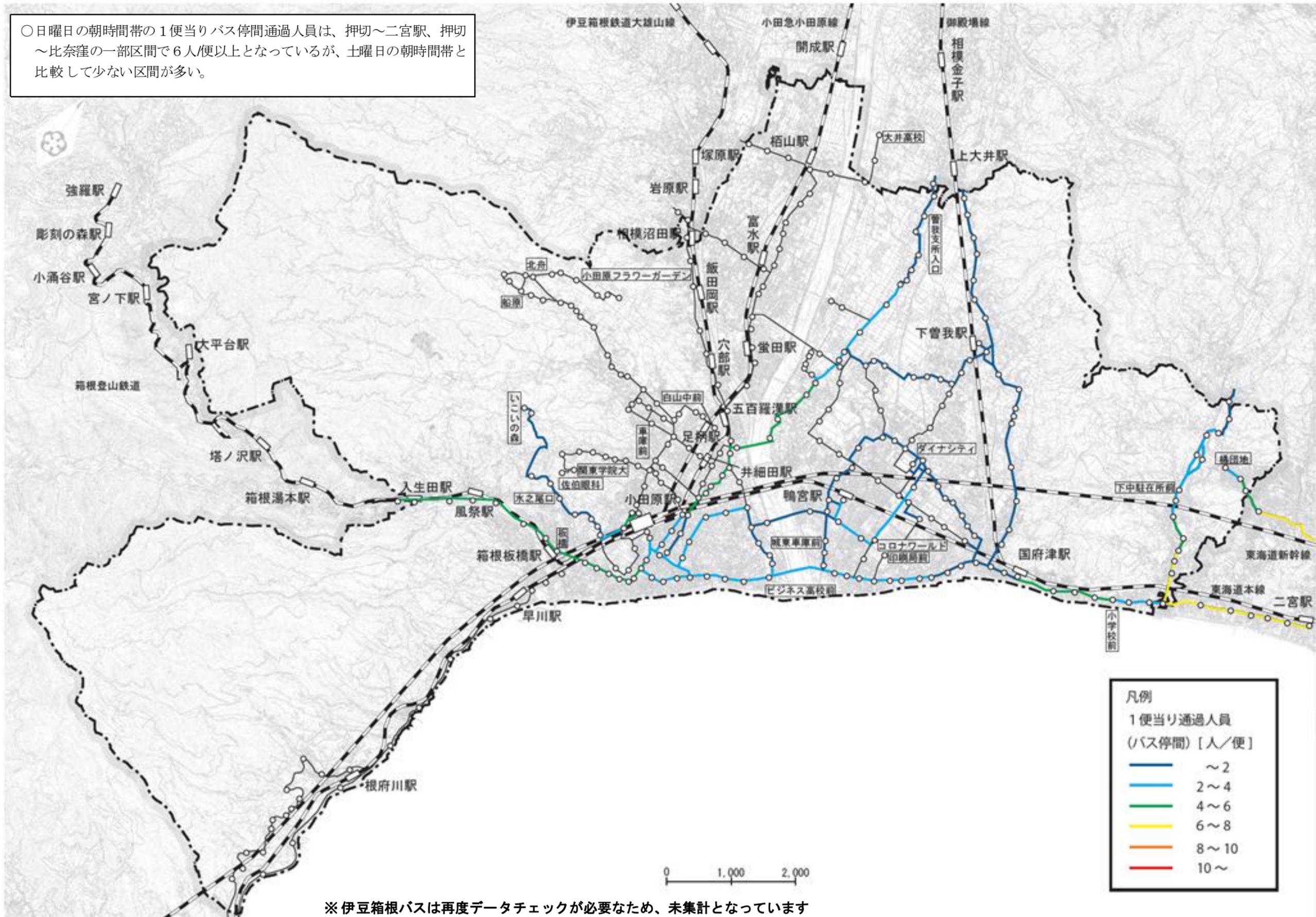
■時間帯別1便当りバス停間通過人員図(土曜日、夕・夜時間帯(17時~))

○土曜日の夕・夜時間帯の1便当りバス停間通過人員は、押切~比奈窪など一部の区間で利用が多いものの、土曜日の朝、昼間時間帯と比較して最も少ない区間が目立つ。



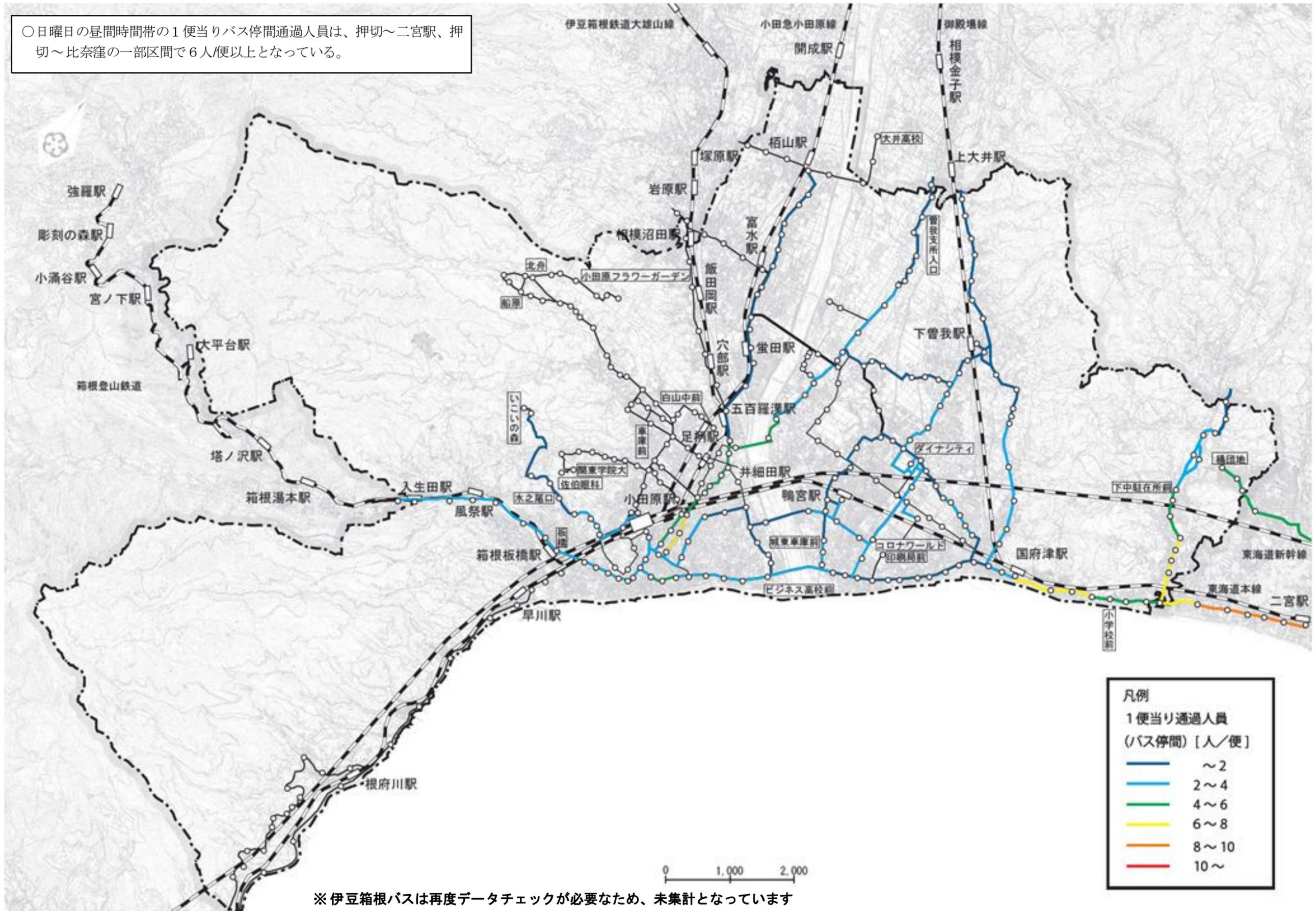
■時間帯別1便当りバス停間通過人員図(日曜日、朝時間帯(~9時))

○日曜日の朝時間帯の1便当りバス停間通過人員は、押切～二宮駅、押切～比奈窪の一部区間で6人/便以上となっているが、土曜日の朝時間帯と比較して少ない区間が多い。



■ 時間帯別1便当りバス停間通過人員図(日曜日、昼間時間帯(9~17時))

○日曜日の昼間時間帯の1便当りバス停間通過人員は、押切~二宮駅、押切~比奈窪の一部区間で6人/便以上となっている。



■時間帯別1便当りバス停間通過人員図(日曜日、夕・夜時間帯(17時~))

○日曜日の夕・夜時間帯の1便当りバス停間通過人員は、日曜日の朝、昼間時間帯と比較して最も少ない区間が目立つ。

